

# お米とお酒を視る

What's Museum? II

大分県立歴史博物館の民俗資料から、お米を作るための農耕器具や生活雑器、写真家・竹内康訓氏が撮影した写真集「内成物語」、美術家・安部泰輔氏によるオブジェによる展示です。

よく目を凝らすと、普段は眼にすることのできない菌類もいるかも???



日時: 2021.9/18[土]~10/10[日]  
10:00-19:00(金・土は20:00まで)

場所: 2Fアトリエ+体験学習室  
鑑賞は廊下からガラス越しになります。  
ただし、以下の日時は、中に入ってご覧いただけます。

9月18日[土] 11:00-17:00 10月3日[日] 13:00-17:00  
20日[月・祝] 11:00-17:00 9日[土] 13:00-17:00  
23日[木・祝] 11:00-17:00 10日[日] 11:00-17:00  
26日[日] 11:00-17:00

profile



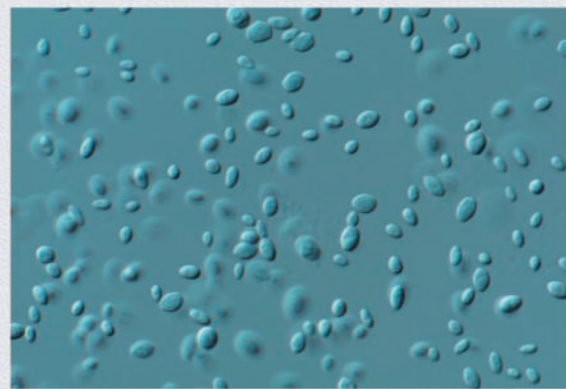
安部泰輔 美術家

古着や端切れを使って小さな立体(ヌイグルミ)を制作し、そのプロセスも含めて作品とする観客参加型のインスタレーションを、日本各地で展開する。豊和銀行の預金通帳やキャッシュカードにおなじみのキャラクターが図柄となっている。

workshop & lecture  
ワークショップ&レクチャー

# A

## 醸しの世界へようこそ



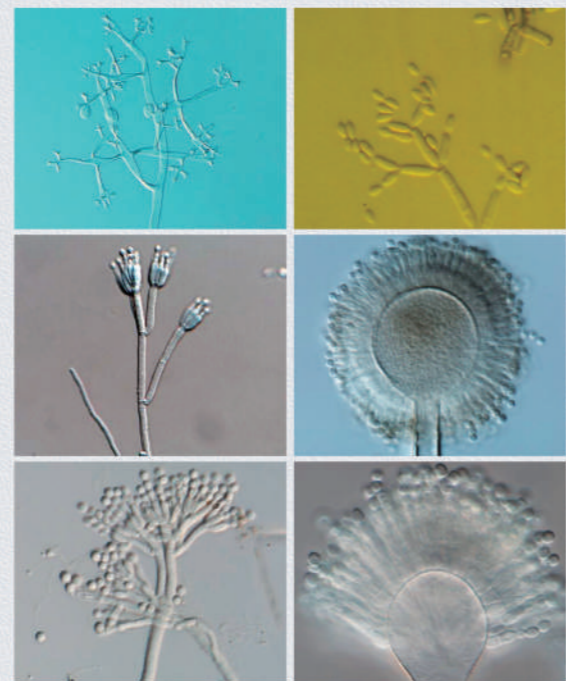
日本の発酵文化にかかせない「醸し(かもし)」の世界。肉眼では見えない発酵に関わるカビや酵母と人間との関わり、酒づくりを中心に伺います。

講師: 細矢 剛 国立科学博物館 菌学

日時: 2021.9/19[日] 13:30-15:30

対象と定員: 中学生から一般 20名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室



profile

1963年生まれ。大学卒業後、製薬会社の研究員を経て2004年より国立科学博物館に勤務。専門は、菌類(きのこ・カビ・酵母)の分類や進化・生態に関する研究。動物でも植物でもない菌類の世界と、人間とのつながりをもっと知ってほしいと、展示や講演などで、幅広く菌類の重要性をアピールしている。現在、国立科学博物館植物研究部部長 兼 筑波実見植物園園長、日本菌学会会長。



workshop & lecture  
ワークショップ&レクチャー

# B

## 農耕図絵馬から読み解く道具と暮らし

道具の博物誌



この道具は何のために、どうやって使う? 大分県立歴史博物館の民俗資料・道具について、形態と用途、そして時代との関係を、国東半島の農耕図絵馬に描かれた農業描写から見てゆきます。

講師: 菅野剛宏 大分県立歴史博物館学芸調査課長

日時: 2021.9/25[土] 13:30-15:30

対象と定員: 中学生から一般 20名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室



profile

茨城県生まれ。大分県立歴史博物館と大分県立美術館の学芸課長をいったりきたりしながら、うさ・くにさきの民俗や庶民生活史を中心に、大分県の歴史と文化を県内外に広めている。『神・人・自然』では、「農耕図絵馬に見る近代の息吹」を記している。

子どものためのワークショップ  
藁にまみれて

# D

お米ができた後の稲藁の匂いはお日様の匂い? 触るとカサカサ? お米を作る道具や四季折々の田んぼの写真も見ます。

日時: 2021.10/3[日] 10:30-12:00

対象と定員: 4歳以上の未就学児とその保護者 10名程度

場所: 2階アトリエ、体験学習室

申込方法

メール(edu@opam.jp)へ、[件名]に講座名、[本文]に希望コースと日時、参加者氏名(ふりがな)、電話番号、中学生以下は保護者氏名、年齢、学校名をご記入の上、お申込み下さい。返信をもって受付完了となります。応募者多数の場合は、抽選となります。

workshop & lecture  
ワークショップ&レクチャー

# C

## 内成物語

大分県のお米



田植えの準備、梅雨、夏祭り、畦に咲く彼岸花、稲刈り、竹やぶ、水路、家屋など、別府市南部の山奥に位置する内成地区の四季の移り変わりや人々の暮らしを豊富な写真とともに伺います。

講師: 竹内康訓 写真家

日時: 2021.10/2[土] 13:30-15:30

対象と定員: 中学生から一般 20名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室



profile

桜の写真撮ることで、生活と桜との結びつきから大分県の豊かな土地を再認識。仁聞菩薩遺跡「豊前豊後六郷山百八十三ヶ所霊場記」との出合いは、国東半島の170ヶ所の霊場を巡ることになる。そして「日本の棚田百選」に選ばれた内成地区は、幼少期に過ごした農村の記憶を思い起こさせると撮り続けた。大分にこだわり、風景や記憶までも写真の中にとじ込めて、次世代にこの素晴らしい大分を残したいと、大分の自然を撮り続けている。

子どものためのワークショップ  
撚って編んで、何にする?

# E

長細くくしたり、輪っかにしたり、藁を使った造形遊びを行います。

日時: 2021.10/9[土] 10:30-12:00

対象と定員: 小・中学生 5名程度

場所: 2階アトリエ、体験学習室

応募締め切り  
9月9日(木) 必着



# お米とお酒を 視る



身近なモノ・歴史的なモノを、  
美術的視点で視る第二弾。  
今回は《お米》が主人公です。  
お米を作るための道具、作っている風景、  
そして作られた後など、  
お米にまつわる様々なモノコトに、  
美術的・多角的視点で迫ります。

ボク、コン田!!



関連ワークショップ

番外編

夜のおとなの金曜講座

## 「藁のパッケージ・卵つと」

卵を割れないように持ち運べるようにするためのパッケージを紹介します。

日時:2021. 9/24[金] 18:30-19:30

場所:2Fアトリエ+体験学習室

対象と定員:中学生から一般 15名程度



番外編

朝のおとなの1010講座

## 「お米には七人の神さまが…」

見えないけど、そこにいる?  
お米が作られるときに見られる  
自然の造形を紹介します。

日時:2021. 10/8[金] 10:10-11:10

場所:2Fアトリエ+体験学習室

対象と定員:大学生から一般 15名程度

